





鶴居中学校体育大会



6月30日に鶴居中学校第59回体育大会が開催されました。鶴居中学校生徒43名が参加し、体育大会を盛り上げました。

令和7年度体育大会スローガン「完全燃焼～全力で戦い抜け！～」のもと、綱引きや借り物競走、クイズ徒競走など様々な種目を生徒1人1人が協力し、全力を出し切った体育大会となりました。



第47回鶴居保育園大運動会

6月28日、第47回鶴居保育園大運動会が開催され、園児たちが保護者の声援を受けながら、元気いっぱい頑張りました。

当日は晴天となり、全員参加の徒競走や玉入れのほか、ちゅうりっぷ組の「ワクワクあふれだす」やたんぽぽ組の「あいうえおんがく」、こすもす組による「よっちゃんれ」などのお遊戯では、保護者席から「かわいい！」などの歓声があがりました。

とても可愛らしい、笑顔溢れる大運動会となりました。





令和7年第46回鶴居村中学生意見発表会

6月20日に鶴居村総合センターにて、令和7年度第46回鶴居村中学生意見発表会が開催されました。鶴居中学校の代表生徒6名が、生徒や寿大学の学生など約110名が見守るなかで発表しました。

最優秀賞には3年上田美月さんが発表した、好きな映画の内容と村での体験をもとに、人口減少の解決には直接的なコミュニケーションが重要であり、人のつながりが鶴居村の最大の武器であるという内容の「人とのつながりから未来へ」が選ばれました。優秀賞には1年鈴木颯真さんの読書の大切さと自分の夢について発表した「自分の将来について」と1年杉本翠さんの好きなことへの思いが込められた「好きなことにまっすぐに」が選ばれました。

惜しくも受賞を逃しましたが、2年長田優利さんは村の「食」を「誇れるもの」として伝えたいという思いを込めた発表、2年東実和さんは地域の「そばにある魅力」を再度見直す大切さについて、3年堀口新さんは「鶴居の未来とは変化だ」と題し、未来への不安と挑戦についての率直な気持ちを語ってくれました。

寿大学の学生からは「村に誇りを持っていると感じた」「自信を持った発表で頼もしい」などの賛辞の声が寄せられました。



わんぱくアドベンチャークラブ「西別岳ハイキング」

6月21日（土）に、わんぱくアドベンチャークラブ6月講座「西別岳ハイキング」を、標茶町教育委員会と合同で開催し、48名と多くの方に参加いただきました。

初めての山道に慣れない子どもを、鶴居村から参加の大人の方や、標茶町から参加の高校生が積極的にサポートしていただきました。また、登山中にはお互いに励ましあって懸命に登っていく温かい交流の瞬間が多く見られました。

悪天候に見舞われ、残念ながら西別岳登頂はできませんでしたが、全員が「がまん坂」を登り切り、一部の参加者は「リスケ山」を目指し、無事に登頂できました。

今後も、次世代を担う鶴居村の子どもたちが、多様な経験を通じて豊かな人間性と想像力を身に付けることができるよう、わんぱくアドベンチャークラブでは様々な体験活動を行っていきます。多くの方のご参加をお待ちしています。



介護老人保健施設「えんれい荘」について

■ はじめに

鶴居村支雪裡にある介護老人保健施設「えんれい荘」は、つるい養生邑病院に併設して平成2年に開設し、医療法人資生会によって運営されています。えんれい荘は、利用定員100名の施設であり、村民や村外の多くの高齢者の方々が入所し、医療と介護による心身の機能回復や生活支援のサービスなどが提供されています。

しかし、令和6年9月末につるい養生邑病院の休止に伴って施設管理費が増加し、さらに職員の人材確保や処遇改善のための人件費の引上げ、食品や燃料といった物価の高騰などで支出が増大し、施設運営が大変厳しくなっています。えんれい荘では、経営の改善や入所者の確保などに努力していますが、施設の老朽化に伴う修繕費が増しており、数年先には施設の使用限界を迎える状況に直面しています。

■ えんれい荘について

介護老人保健施設である「えんれい荘」は、原則として要介護1以上の65歳以上の方が入所の対象となり、令和7年6月末の入所者数は96人（村民の入所者は35人）となっています。（下表参照）

えんれい荘では、施設の運営基準に基づき、医師や薬剤師、看護師、介護士、療法士、相談員、栄養士、事務員、調理員などの64名の職員（村民の職員は27名）が働いています。

また、施設介護サービスのほかに、短期入所療養介護（ショートステイ）や訪問リハビリテーションなどの在宅介護サービスも行われています。

えんれい荘の住所地・年齢別の入所者数（令和7年6月末）

	鶴居村	釧路市	標茶町	その他	計
65～69歳	1人	2人			3人
70～79歳	3人	9人	1人	2人	15人
80～89歳	11人	16人	4人	4人	35人
90～99歳	16人	8人	10人	3人	37人
100歳以上	4人	1人		1人	6人
計	35人	36人	15人	10人	96人

※その他は、釧路・根室・十勝管内の8町の入所者となります。



■ 村の経営支援について

村では、本村での安定した施設介護サービスの利用を確保し、高齢者の方々に対する生活上の支援体制を維持するとともに、地域に及ぼす影響や広域的な役割などを考慮して、えんれい荘の経営を支援することを決定しました。

令和7年4月から、えんれい荘の運営費等の不足額に対して一部を補助することとし、令和7年度は3,600万円（月額300万円）を基準額として交付します。

■ 今後の方向について（住民意向調査の実施）

えんれい荘の施設は老朽化が進んでおり、4～5年先には使用の限界が見込まれており、民間事業者による新しい施設の整備などは難しい状況となっています。

本村における今後の施設介護サービスの方向を検討するため、村民皆さんの意向や意見などを把握する調査を予定しています。

調査の時期は、今年の9月以降を予定しており、詳しいことは改めてお知らせします。

■問合先：保健福祉課 0154-64-2116

■ 医療法人資生会について

えんれい荘を運営する医療法人資生会は、千歳市に本部を置き、千歳病院や創成東病院（札幌市）をはじめ、自立訓練施設や複数の介護サービス施設などを運営しています。

本村では、えんれい荘以外に、村立鶴居診療所と鶴居村デイサービスセンター（ほのぼのセンター）を指定管理者として管理運営しています。

また、認知症の初期支援事業、通所介護の配食サービス、介護の認定審査、児童健診や予防接種など、村の介護や医療分野における業務を行っています。

みんなの掲示板

人口の動き（前月比）

総人口 2,394人（+2人） うち外国人人口 59人（+3人）
男性 1,201人（+3人）
女性 1,193人（-1人） 世帯数 1,195世帯（+5世帯）

死亡事故ゼロの日
3,515日
※すべて6月末時点

議会情報

■令和7年第3回鶴居村議会臨時会

今臨時会は6月30日（月）に開かれ、1件の議案にて審議が行われ原案のとおり議決されました。
報告第49号 工事請負契約の締結について（下幌呂希の杜第2樹分譲宅地造成その1工事）

むらのイベント

■鶴居ふるさと盆踊り・花火大会

8月14日（木）に「鶴居ふるさと盆踊り・花火大会」が開催されます。盆踊りや飲食店による出店などが予定されております。ぜひお越しください。

日時：8月14日（木）16時～21時
場所：鶴居村営球技場

■美しい村フェア

村が加盟する「日本で最も美しい村」連合に加盟している全国の町村の特産品とつるぼーの家がコラボする企画「美しい村フェア」第9弾が8月も開催されます。8月は長野県原村の特産品「セロリ」を予定しています。詳細はつるぼーの家インスタグラムよりご確認ください。

日時：8月23日（土）24日（日）

問合先：つるぼーの家

☎0154-64-5350



その他

■「税に関する高校生の作文」募集

国税庁では、「第64回税に関する高校生の作文募集」を行っています。

テーマ：税の意義と役割について考えたこと

応募資格：高校生、中等教育学校生（後期課程）及び
高等専門学校生（1～3年生）

提出先：最寄りの税務署

締切：9月8日（月）必着

※詳細は国税庁ホームページからご確認ください。



■人権擁護委員をご存じですか

人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済したり、地域の皆さんに人権について関心をもってもらえるような啓発活動を行ったりしています。村の人権擁護委員は小泉きぬ子さん、今井直史さんです。

問合先：総務課 0154-64-2111

■電線への樹木倒壊による停電防止について

倒木により電線が切断され停電が発生した場合、倒木の除去作業が必要なため復旧までに長時間を要しております。樹木の所有者様、管理者様におかれましては、電線に樹木が近づく前に立木を適正に処理していただきますようご協力をお願いいたします。

なお、電線に樹木が接近しており、保安上の問題がある場合には、当社で伐採させていただいております。伐採を希望される場合、現地の確認を行う必要がありますので、お手数ですが最寄りの下記事業所までお問い合わせください。

連絡先：北海道電力ネットワーク株式会社 釧路支店

☎0120-06-0669



鶴居文芸

凍原社7月句(俳句)

夏の花次次咲きし花菖蒲
校舎跡アカシアの花咲きみちて
マタタビの葉の色変はる日となりぬ
夏椿一日の命地に光る
太陽の熱はね返す夏の花
鉄線花紫紺気高く楚楚として
混み合える庭の草花小判草

恒 紀 春 和 公 ち ミ
子 代 夢 子 子 子 え ヤ
子 子 子 子 子 こ ノ

令和7年度より、村民の皆さまの健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目的として、「みんなでつながる心と身体健康づくり」をスローガンに、鶴居村健康増進計画「健康つるい21（第三次）」が策定されました。8月号では基本方針の一つである“身体活動・運動”をご紹介します。

健康つるい21（第三次） 身体活動・運動 ※抜粋

《主な数値目標》

評価項目			基準値	目標値
運動習慣のある人※の増加	20歳以上	男性	32.5%	42.5%
		女性	25.0%	35.0%
	65歳以上	男性	41.9%	51.9%
		女性	25.6%	35.6%
日常生活における歩数の増加	20～64歳	男性	—	8,000歩
		女性	—	6,000歩
	65歳以上	男性	—	7,000歩
		女性	—	6,000歩

※運動習慣のある人：1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している人のこと。

身体活動・運動では

自分にあった身体活動や運動習慣を実践している
を目指す姿として掲げています。

「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」を用いて村民の運動習慣の改善に向けた指導を行います。

また、運動教室やウォーキング事業などを定期的に行い、運動の知識や技術の習得と運動習慣の定着に繋がるよう事業を展開していきます。



「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」より推奨事項

対象者	身体活動 (安静にしている状態よりも多くのエネルギーを消費する骨格筋の収縮を伴う全ての活動)		座位行動 (座ったり寝転んだりすること。例えば、デスクワークや、テレビやスマートフォンを見ること、車やバス移動で座っている等)
	生活活動 (日常生活における家事・労働・通勤・通学などに伴う活動)	運動 (スポーツやフィットネス等の健康・体力の維持・増進を目的として、計画的・定期的に行う活動)	
高齢者	歩行又はそれと同等以上の身体活動を 1日40分以上 (1日約 6,000歩 以上)	有酸素運動・筋力トレーニング・バランス運動・柔軟運動など多要素な運動を週3日以上 【筋力トレーニングを週2～3日】	座りっぱなしの時間が長くなりすぎないように注意する。 (立位困難な人も、じっとしている時間が長くなりすぎないように少しでも身体を動かす)
成人	歩行又はそれと同等以上の身体活動を 1日60分以上 (1日約 8,000歩 以上)	息が弾み汗をかく程度以上の運動を 週60分以上 【筋力トレーニングを週2～3日】	

～村の運動教室やウォーキング事業～

6月12日・13日にファミスポアップで「ウォーキング講座」を行いました

今年度第1・2回目の運動教室を実施しました。講師に運動指導士の石川朋美先生（TOMOSPORTS所属）をお招きし「“歩くコツ”を知って楽しく続けよう」をテーマにご指導いただきました。



ファミスポアップの2階1周140mのウォーキングデッキは、天候関係なく自分のペースで快適に歩くことができます。

令和7年度春のウォーキング事業を開催しました！



令和7年度春のウォーキング事業は、6月17日に川湯つつじヶ原自然探勝路を散策しました。距離は往復約6.2km、コロナ禍を経て令和4年度に本事業を再開して以降、一番長い距離を歩きました。早朝はすっきりとしない天候でしたが、歩き始めると同時に晴れ、快晴の下一面に咲くイソツツジを眺めながら、ウォーキングを楽しむことができました。



ウォーキング事業、運動教室共に、次回は秋頃の開催を予定しております。詳細なスケジュール等が決まりましたら、広報チラシ及びIP放送などでお知らせいたしますので、ご興味のある方は是非ご参加ください！



熱中症に注意 !!

○熱中症とは

室温や気温が高い中で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり体温上昇、めまい、体のだるさ、ひどいときには、けいれんや意識の異常など、様々な障害をおこす症状のことです。

○対策

①水分補給はこまめに！計画的に！

- ・特に高齢者は喉の渇きを感じにくくなるため、こまめに水分補給を意識しましょう。
- 持病がある方や水分摂取を制限されている方は、夏場の水分補給について必ず医師に相談しましょう。

②高温・多湿・直射日光を避けましょう！

- ・熱中症の原因の一つが、高温と多湿です。屋外では強い日差しを避け屋内では風通しを良くするなど長時間高温環境にさらされないようにしましょう。
- 家の中でじっとしていても室温や湿度が高いために、身体から熱が逃げにくく熱中症になる場合がありますので注意しましょう。



③暑さに身体を慣らしていきましょう！

- ・日頃から軽い運動などで汗をかく習慣を身につけていれば夏の暑さにも対抗しやすくなります。ウォーキングするなど汗をかく習慣をつけ、夏の暑さに負けない身体を作りましょう。

④運動時などは計画的な休憩を取りましょう！

- ・汗などで失われた水分や塩分をできるだけ早く補給するためにスポーツドリンクや経口補水液などを摂取するようにしましょう。



⑤子どもは大人よりも高温環境にさらされています！

- ・地面に近い子どもは、大人に比べて地面から受ける輻射熱は高温となるため、子どもの体調変化には注意しましょう。

⑥車には子どもだけを置いていかない！

- ・晴天下の日、車の窓を閉め切ると、すぐに車内の温度は上昇し、30分で約45℃にもなります。
- 子どもが寝ているから、短時間だからと、車内に子どもだけを残して車を離れるのは非常に危険ですのでやめましょう。

○症状と応急手当

- ・自分で飲み物が飲めない
- ・脱力感、倦怠感が強く動けない
- などの症状が当てはまる場合も
- ・意識がない
- ・全身のけいれんがある
- などの症状がある人を発見した場合でも



ためらわずに救急車を呼んでください！

熱中症を疑った時には、放置すれば死に直結する緊急事態であることを認識し、次のページの図を参考に応急処置を行ってください！

熱中症の応急処置

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら……。
落ち着いて、状況確かめて対処しましょう。最初の措置が肝心です。

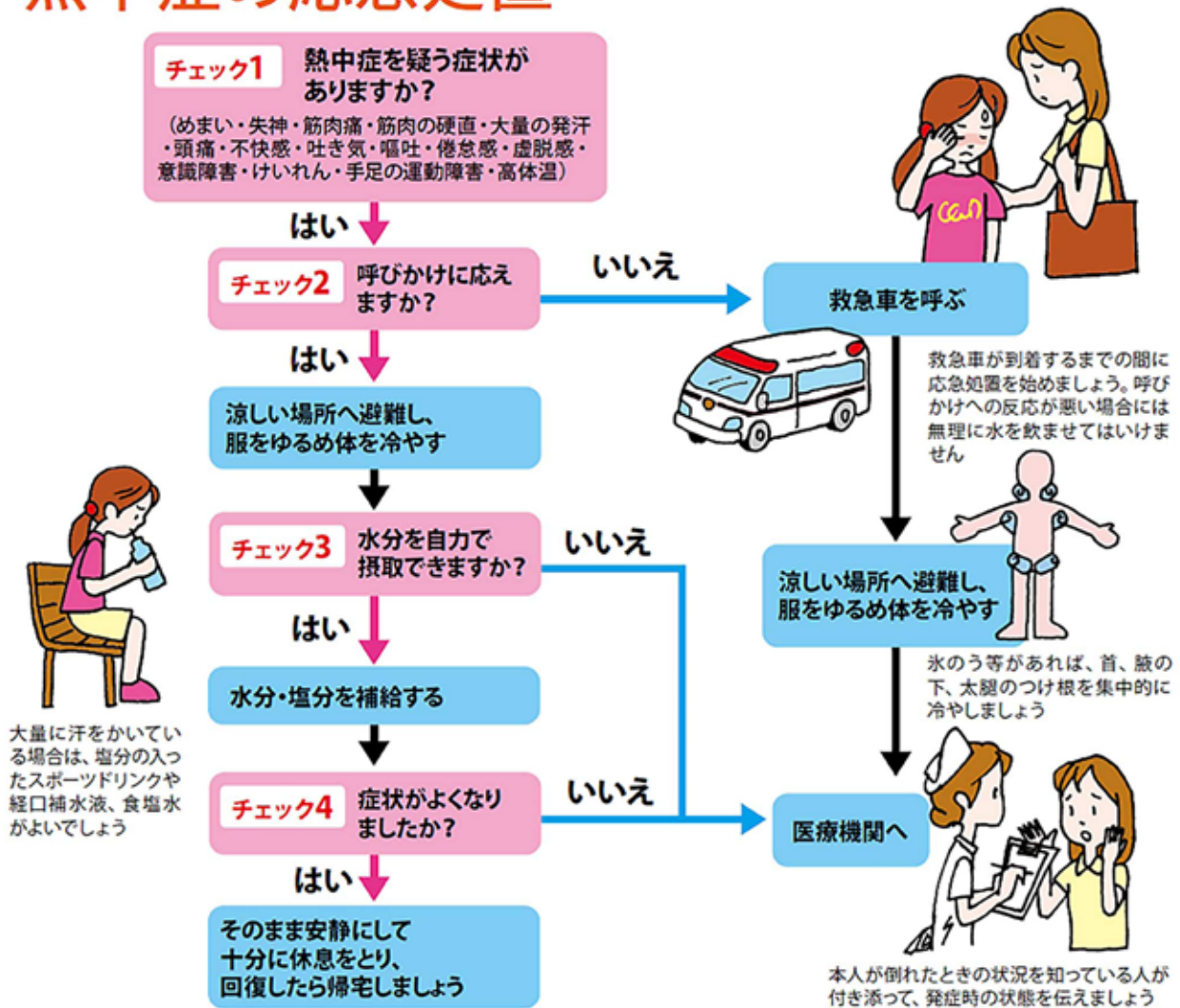


図2-7 熱中症を疑ったときには何をすべきか

出典：環境省「熱中症環境保健マニュアル2018」P. 24より



X (旧ツイッター)

全国統一防火標語

『急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし』

鶴居村防火標語

『気のゆるみ 大きな火事への 導火線』



Instagram

↑ ↑ 鶴居消防署・鶴居消防団、火災予防、災害時に役立つ情報などを発信しています。↑ ↑



住宅用火災警報器設置率調査実施中！！

アンケートへのご協力をお願いいたします



新刊案内

鶴居村図書館だより

図書館からのお知らせ

8月の展示は「平和について考える～戦後80年を迎えて」です。今年は第2次世界大戦の終結から80年を迎えます。ここで平和の大切さや命の尊さを改めて考えてみませんか。

●開館時間……10:00～18:15

●休館日……8月の休館日は8/26(火)です。

●貸し出し……【本・雑誌・紙芝居】

2週間（1人10冊まで）

【CD・VTR・DVD】

2週間

（CD3点、VTR2点、DVD1点まで）

紹介されている本は7/30(水)から利用できます。

がんばれない私のゆる時間術



いしかわ ゆき 著
どんな人でも1日は24時間と平等。やりたいことをやる時間をできるだけ作ったほうが、後悔なく生きられるはず。がんばるのが苦手な人でも実現可能な、ゆるい時間管理術を紹介する。

ひんやりごはん



蓮池 陽子 著
キッチンに立つこと自体、暑い夏は億劫になりがち。旬の夏野菜を主役にした、できるだけ火を使わない、体にやさしい、冷やしておいしく食べる麺やおかず、万能だれを紹介します。栄養バランスを重視したラインナップ。

パズルと天気



伊坂 幸太郎 著
悩みを抱えた「僕」は、マッチングアプリでしか出会えない「名探偵」に依頼することに…。「パズル」をはじめ、伊坂ワールドの魅力が詰まった5編の短編を収録する。

今日も私は、ひとつの菓子を



高田 充 著
京都島原の和菓子店で菓子職人としての道を歩み始めた雄司。腕は一流だが昔気質で頑固な大将との衝突、後継者争い、地域の人々や店の仲間たちとの交流を通して、大きく成長していき…。

読書感想文が終わらない！

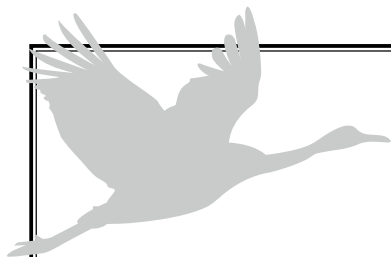


額賀 滯 著
satsuki 絵
夏休み、5人の少年少女たちは、小学校の図書館で読書感想文を助けてくれる救世主「フミちゃん」に出会い…。「書く」ことで、自分のほんとうの気持ちも見つけていく6人の物語。読書感想文の書き方もQ&A形式で解説。

やどかりのおへやかします



ウソップ 吉田 作
むかい ながまさ 絵
やどかりの夫婦ウツカリとシッカリは、3階建ての巻貝に引っ越し下宿人を募集します。でも、仕立屋のオテヤワラカニ、画家のヒッパリダコ、大工のシゴトオサメと、クセ強キャラが次々やってきて…。



シリーズ タンチョウ Vol. 364

鶴居村教育委員会社会教育課主幹
(タンチョウ自然分野担当)

音 成 邦 仁

☎64-2050 / FAX64-2900

鶴居 タンチョウ

検索

タンチョウの食害防止対策～新たな挑戦～

鶴居村野生鳥獣被害対策協議会では、毎年5月中旬から約1ヶ月間、タンチョウによるデントコーンの種や芽の食害防止対策を実施しています。若いタンチョウが定着する下久著呂地区と下雪裡地区で、地域団体や住民有志が“畑からの追い払い”を中心に汗をかいています。今号では、下久著呂地区での取組と結果についてお知らせします。

昨年度までと同様に、人が近づいたりドローンを近づけたりすることでタンチョウを畑から追い払いました。さらに今年度は、子どもたちの追い払い体験と忌避剤の効果検証も実施しました。追い払いに参加した子どもたちは、自然体験活動グループ“サルルンガード”のメンバーで、5、6人ずつ計3回体験しました。いつもと雰囲気が違うと感じたのかタンチョウは早々に飛び去ってくれました。農家さんの思いを聞く機会もあり、子どもたちなりにこの取組の意味を理解してくれたようでした。忌避剤は「食べるとまずく感じる」薬で、毎年多くのタンチョウが飛来する区域内の畑8ヶ所約61町歩で忌避剤をまぶした種をまいていただきました。

追い払いは、191回延べ441羽に対して実施しました。前年度と比較すると回数は約2/3、延べ羽数は約1/3となり、回数もさることながら1回当たりの羽数が大きく減少しました。特に1歳の個体は、昨年度は延べ790羽と実に全追い払い羽数の6割以上を占めたのに対し、今年度は延べ98羽と約2割にとどまりました。1歳個体を中心とする若い個体の減少が、今年度の追い払いの減少の大きな要因と言ってよいでしょう。

一方で忌避剤の効果はあったのでしょうか。播種当初は地区全体で6～7羽確認されていた1歳個体が、5月28日以降は最大2羽、6月2日以降は1羽しか確認されず、「食べたらずい」ので食べなくなった可能性があります。ただ、例年日を追うごとに羽数は減る傾向にあり、昨年度は最大で20羽以上の1歳個体が確認されていたので、今年度はもともと定着する個体が少なかったことになります。本当に効果があるのか、次年度以降も検証を継続したいと思います。



タンチョウに向かって走る小学生たち
(↓は飛び去るタンチョウ)



ドローンを使った追い払い
(スマホ画面上の↓にタンチョウが写っています・かなり近づかないと逃げない)

8月の鶴居村

日時：8月8日(金) 11:00～

令和7年度鶴居村戦没者追悼式

場所：忠魂碑前

日時：8月14日(木) 16:00～

鶴居ふるさと盆踊り・花火大会

場所：鶴居村営球技場

日時：8月24日(日) 8:30～

令和7年度第10回村長杯パークゴルフ大会

場所：鶴居村パークゴルフ場



村公式SNS



Instagram



X (旧Twitter)



YouTube



Facebook

編集後記

暑い日や涼しい日が混在した7月でしたが、皆様体調いかがでしょうか。納涼まつりが終わり、今月は盆踊り・花火大会が開催されます。細かい水分補給等、熱中症にも気を付けながら夏のイベントを満喫しましょう。(C)

今月号の表紙



鶴居保育園大運動会の様子です。
天気にも恵まれ、元気いっぱい頑張っていました。

寄付

釧路市 松井 寿恵 様
・地域振興及び地域福祉等に関する事業
300,000円

釧路信用金庫
理事長 森村 好幸 様
・豊かな地域資源を活用し、鶴居村における安定した雇用を創出する事業（森林整備推進プロジェクト）
・鶴居村への新しいひとの流れをつくる事業
1,000,000円

北電工業株式会社
代表取締役 新妻 繁市 様
・豊かな地域資源を活用し、鶴居村における安定した雇用を創出する事業（森林整備推進プロジェクト）
金額非公表

株式会社アガルート
代表取締役 岩崎 北斗 様
・若い世代の出産・子育ての希望をかなえる事業
100,000円

ふるさと納税（6月分速報値）
503件 6,810,000円